

総合計画って…?

皆さんは、「総合計画」というものをご存じでしょうか？
 「市役所の作る計画だから、自分の生活には関係ないでしょ？」と思われる方もいらっしゃるかもしれません。
 ですが、実は皆さんの生活に強く関連している計画なんです！
 「総合計画」とは、「多摩市を将来どんなまちにしていきたいか」ということを、市民の皆さんと市と一緒に考え、形にしたものです。
 「子どもたちが元気に育つためにはどんなまちがいい？」「多摩市で暮らす誰もがいきいきと輝けるまちにするためには？」「地球環境を守るためには、どうしたらいい？」といったことが書かれています。

この計画は市民の皆さんと一緒に作ってきました



阿部市長から ～第六次総合計画のスタートにあたって～

平成23年度に、第五次総合計画がスタートしてから12年余りが経ちました。東日本大震災以後も各地で起こる地震、地球温暖化に伴う豪雨の頻発や猛暑などの気候危機の脅威、そして新型コロナウイルス感染症の猛威など、想像を超えるさまざまな困難に直面しながらも、乗り越えてきた12年でもありました。

そして今、世界は地球温暖化から地球沸騰の時代のまただ中にあり、日本では人口減少・少子高齢化が進む中で、さまざまな活動において担い手不足も深刻化しています。

第六次総合計画は、そのような変化の激

しい時代にあっても、明るい未来を志向し、持続可能なまちを実現するための羅針盤として策定したものです。平和で豊かなこの多摩市を、次代を担う子どもや若者に継承していかなければなりません。

第六次総合計画の策定にあたっては、総合計画審議会委員の皆さん、基本構想・基本計画それぞれの市民ワークショップにご参加いただいた多世代の市民の皆さんをはじめ、令和4年度子どもみらい会議で、「2050年の多摩市のために私たちにできること」を考え、提言とメッセージの発信を行った小・中学生の皆さんなど、多くの方々にお力添えをいただきました。心から

感謝申し上げます。真剣に多摩市の未来を考え、議論を交わす皆さんの姿には、私がこれまで訴えてきた「市民主権のまちづくり」という言葉が重なるとともに、皆さんのもつ多摩市への愛着や誇りというものを感じました。

新たな将来都市像「つながり 支え 認め合い いきいきと かがやけるまち 多摩」の実現に向けて、私たち行政も、しっかりと取り組みを進めてまいります。子どもたちに誇れる多摩市を一緒に創造していきましょう。

皆さんの引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

